



京都文学レジデンスー 03 / Kyoto Writers Residency 03

レジデンスー期間：2024年9月28日(土)～10月27日(日)

オープニング・フォーラム

2024年9月29日(日) 15:00-17:00 (14:30開場)

場所：香老舗 松栄堂 薫習館 [京都市中京区烏丸通二条上ル東側]

司会：藤井光

◎参加無料・要事前申込

◎オンライン配信・翻訳あり

◎お申込みは右フォームより



異物と創作 / Writing through Alien Materials

私たちは日々、異物と出会い、それを取りこんでいます。ワクチンのように免疫力を高める効果もあれば、未知の刺激となって退屈な日常にいろどりをもたらすこともあります。テクノロジーの進化は、生身の人間に、拡張的な身体の可能性を与えてくれます。一方で、民族間の軋轢による亀裂は、世界中でひろがっています。

文学者は異物にどのように向き合っているのでしょうか。異物が創作にもたす影響とは？ 多様な地域から集まった文学者たちが、それぞれの考えについて語り合います。

クロージング・イベント〈朗読会〉

2024年10月26日(土) 17:00-19:00 (16:30開場)

場所：京都 蔦屋書店 (京都高島屋 T8 5F)

[京都市下京区四条通寺町東入二丁目御旅 35]

◎詳細が決定次第 SNS でお知らせします

ブックフェア

2024年9月上旬～10月末

場所：MARUZEN 京都本店 (京都 BAL B1)

[京都府京都市中京区山崎町 251]

◎京都文学レジデンスー招聘作家による選書フェア

◎実行委員会メンバーによる海外文学&世界文学選書フェア

関連イベント

詳細が決まり次第 SNS でお知らせいたします

WBI・神戸大学共催 ベルギー文学翻訳ワークショップ
2024年9月28日(土)ヨーロッパ文芸フェスティバル
2024年10月12日～14日WBI・関西日仏館共催イベント
2024年10月19日(土)日本現代詩人会 国際交流イベント
2024年10月19日(土)文芸対話プロジェクト YOMU 公開トークセッション
2024年10月31日(木) 15:00～イタリア文化会館大阪関連イベント
開催日未定

招聘作家

- ◎アンバー・アダムズ (Amber Adams) アメリカ
- ◎オーシュラ・カジリューナITE (Aušra Kaziliūnaite) リトアニア
- ◎クレア・ウィグフォール (Clare Wigfall) イギリス/ドイツ
- ◎コリーン・マリア・レニハン (Colleen Maria Lenihan) ニューゼaland
- ◎ダリオ・ヴォルトリーニ (Dario Voltolini) イタリア
- ◎クリスティナ・ドンブロフスカ (Krystyna Dąbrowska) ポーランド
- ◎今宿未悠 (Mew Imashuku) 日本
- ◎パオロ・ティアウサス (Paolo Tiausas) フィリピン
- ◎ポリー・バートン (Polly Barton) イギリス
- ◎トリスタン・ルドゥ (Tristan Ledoux) ベルギー

SNS

X : @kyoto_writers [JP]

X : @kwr_eng [EN]

Instagram : @kyotowritersresidency

note : @kyoto_wr

HP : <https://kyotowriters.org>

- 主催：京都文学レジデンスー実行委員会
- 共催：立命館大学国際言語文化研究所 / 龍谷大学 / 京都芸術大学
- 特別共催：国際交流基金
- 協賛：香老舗 松栄堂 / DMG 森精機 / 京都 蔦屋書店 / 共立メンテナンス / 丸善ジュンク堂書店 / 早稲田大学
- 助成：Arts Aid KYOTO (京都市) / ベルギー王国フランス語共同政府国際交流振興庁 / イタリア文化会館大阪 / 欧州連合 / リトアニア文化カウンスル / クリエイティブ・ニューゼaland
- 後援：京都市 / 京都経済同友会 / 京都市教育委員会
- 共同プロデュース：MUZ ART PRODUCE / CAVA BOOKS

文芸誌『TRIVIUM』刊行

京都文学レジデンシー実行委員会は、海外を拠点とする小説家や詩人や翻訳家が数か月滞在しながら、執筆やリサーチに専念することができる環境を提供する「京都文学レジデンシー」の継続的な実施を目的に、2021年5月に正式に発足しました。21年度からの実施を目指していた京都文学レジデンシーですが、世界的な新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の流行により、初年度の招聘を断念せざるを得ませんでした。その代替案として模索されたのが、紙の上での文学交流、つまり紙上版「文学レジデンシー」としての冊子の刊行プロジェクトです。



『TRIVIUM (トリヴィウム)』

『TRIVIUM』という誌名には、三叉路のような場所に文化が会うこと、そしてリベラルアーツの基礎となる文法学・修辞学・論理学の三学の意味もこめられています。また京都の鴨川のY字のイメージ、そして四季折々の水辺の風景を求めて人々が集うシンボルとしての鴨川デルタも重ねています。

¥1,650 税込



購入はこちら➡

京都文学レジデンシー 01

Kyoto Writers Residency 01

◎開催期間：2022年10月1日～10月21日

◎招聘作家：6名

大前粟生 (Ao Omae) 日本

アンナ・ツィマ (Anna Cima) チェコ

アルフィアン・サアット (Alfian Sa'at) シンガポール

エミリー・バリストレーリ (Emily Balistreri) アメリカ

ポーラ・モリス (Paula Morris) ニュージーランド

ユベール・アントワンヌ (Hubert Antoine) ベルギー

◎執筆場所：ワコールスタディホール京都

◎滞在先：京都駅前ホテル

◎オープニング・フォーラムテーマ：「裂け目と文学」

個人様・企業様からの寄付が
レジデンシーの大切な資金源です
寄付ページはこちら >>>



京都文学レジデンシー 02

Kyoto Writers Residency 02

◎開催期間：2023年9月30日～10月22日

◎招聘作家：5名

佐藤文香 (Ayaka Sato) 日本

モード・ジョワレ (Maud Joiret) ベルギー

ジョセフィン・ロウ (Josephine Rowe) オーストラリア

ルス・ヴィトロ (Luz Vitolo) アルゼンチン

カン・バンファ (Kang Bang-hwa) 韓国・日本

◎執筆場所：龍谷大学深草キャンパス図書館

◎滞在先：ドーミーくいな橋寮

◎オープニング・フォーラムテーマ：「発酵する思考、
表出することば」

京都文学レジデンシー実行委員会

連絡先

Mail:kyotowritersresidency@gmail.com

毎年拡大している京都文学レジデンシー

	公募 応募者数	公募応募者の 国籍と執筆言語	パートナー団体 および企業数
2022年	募集せず	募集せず	11
2023年	59名	30カ国 17言語 アイルランド／アメリカ／アルゼンチン／イギリス／イスラエル／イタリア／インド／オーストラリア／オーストリア／オランダ／カナダ／ギリシャ／ケニア／スウェーデン／スコットランド／スペイン／タイ／台湾／チェコ／ドイツ／日本／ニュージーランド／ノルウェー／ハンガリー／バングラデシュ／フィリピン／フランス／マレーシア／南アフリカ／ルーマニア	13
2024年	187名	52カ国 36言語 アイルランド／アメリカ／アルゼンチン／イギリス／イスラエル／イタリア／イラン／インド／インドネシア／ウズベキスタン／オーストラリア／オーストリア／オランダ／ガーナ／カザフスタン／カナダ／韓国／ギリシャ／クロアチア／ケニア／コロンビア／シンガポール／スウェーデン／スペイン／スロバキア／タイ／台湾／チェコ／中国／デンマーク／ドイツ／トルコ／ナイジェリア／日本／ネパール／ハンガリー／フィリピン／フィンランド／フランス／ブルガリア／ベトナム／ベネズエラ／ペリイズ／ペルー／ポーランド／マレーシア／メキシコ／モンゴル／リトアニア／ルーマニア／ルクセンブルク／ロシア	21